

新型コロナ対策 市独自施策

新型コロナウイルス感染防止と暮らし・経済支援策について甲賀市独自の施策が補正予算で講じられました。主なものを紹介します。

- ◆地域経済活性化支援金…減収要件なしで市内の商工業者で店舗または事業所を有する小規模事業者に一律10万円を支給。
- ◆地域経済応援クーポン券…市内店舗で利用できる5千円のクーポン券を全世帯に郵送で配布。
- ◆傷病見舞金の支給…国保加入者の自営業者が仮にコロナに感染した場合、「傷病見舞金」を支給。
- ◆奨学資金給付金及び就学援助対象者を拡大。コロナによって減収した世帯対象。



マスクして質問する山岡議員

山岡光広議員が一般質問

6月定例議会は6月5日から24日まで開かれました。一般質問には19名の議員が通告。日本共産党の山岡光広議員は、新型コロナウイルス感染防止対策の基本姿勢、PCR検査拡大と医療態勢の充実、学校図書館整備5カ年計画の現状と対策、主要地方道草津伊賀線甲南地域の歩道整備の4項目について実態調査をもとに改善を求めました。また日本共産党甲賀市議員団として5本の意見書を提案しました。

PCR検査センター 甲賀医療圏域 秋頃開設へ

山岡議員は、未曾有の被害をもたらしている新型コロナウイルスの第二波・第三波に備えるためにも思い切った対策が必要。国と県との施策で救済できないエリアをカバーするの

が市の役割」と強調し、市の独自施策を評価しながらも「今後も市民に寄り添い、きめ細やかな施策を」と市長に求めました。また無症状でも陽性確認されている人が多いことからPCR検査を抜本的に強化すること。特に甲賀医療圏域で検査センター設置を求めました。これに市長は「秋頃開設を目的に甲賀保健所と甲賀医師会との間で協議が始まった」と報告。医療態勢の拡充では、医療崩壊を招かないために、病床数の確保と衛生資材の備蓄を求めるとともに、最前線で働く医療従事者に感謝の意を表明するとともに「危険手当」（甲賀市の場合月額290円）の増額など処遇改善を求めました。健康福祉部長からは「甲賀病院で現在12床確保。市立医療機関はその後方支援に位置づけている」と答弁。危険手当については処遇改善へ検討することを約束しました。防災計画に新型コロナを追い記する見直しを行うことも明らかに。

学校図書充実、新聞配備、学校司書の増員を

学校図書館整備5カ年計画

●…「甲賀市子ども読書活動推進計画」見直す
国が定めた「学校図書館整備5カ年計画」（2017年から2021年）では、学校図書の整備・学校図書館に新聞配備・学校司書を1.5校に一人の割合で配置する目標を決め、その財源を地方交付税（総額2300億円）として措置しています。ところが「甲賀市子ども読書活動推進計画」第三次計画には、「5カ年計画」が位置づけられていません。山岡議員は「甲賀市子ども読書推進計画を見直し、5カ年計画に基づく目標を明記すべき」と求めました。これに教育部長は「見直す」ことを約束しました。



学校の規模（学級数等）に基づき、学校図書館標準冊数が学校毎に示されています。この標準冊数

に対して各学校図書館の蔵書率をみると小学校で21校中12校が100%以上です。しかし実際は、古くて活用できない本（本来除籍対象）も含まれています。図書館をリニューアルした際、整理した希望ヶ丘小学校の場合は860冊を除籍処分しています。山岡議員は「例えば水口中学校では、本来除籍すべき本が1000冊近くあり、図書準備室に並べてある＝上写真。整理して活用できる蔵書数に見直しすべきではないか」と求めました。

●…学校司書も拡充を 目標は1.5校に1人配置
新聞については「複数紙の配備」を求めています。甲賀市の場合は「子ども新聞が配備されている学校が3校」だけ一般新聞はありません。また学校司書は、昨年9月議会一般質問で、山岡議員が司書の役割を強調し増員を求めたことが実り、今年4月から1名増員され6名となりました。山岡議員は国が示す「1.5校に一人」の目標を達成するためには少なくとも二倍の配置が必要。ところが6名で市内小中全校を巡回しているので第三次計画では「100%」の配置となっています。「これでは計画的配置ができない。具体的な拡充計画を」と求めました。



やまおかみつひろ

山岡光広

市議会議員 活動報告

2020年7月1日
第823号